

六呂師高原 - 湿地群・草地 -



妻平湿原



馬取池

選定理由

・県レッドデータブック掲載種（県RDB種）が多種確認されている

県レッドデータブック掲載種数： 53種（面積約530ha）

自然の概要

池ヶ原湿原と妻平湿原には、モウセンゴケなどの湧水湿地性の植物が生育しています。また、馬取池や大池にはミズユキノシタやフトヒルムシロなどの水生植物が生育し、オオコオイムシやコオイムシ、マルガタゲンゴロウなど多様な水生昆虫の生息が確認されています。さらに、高原の所々にリンドウなど明るい草地を好む植物が生育しています。

保全すべき主な環境

湧水湿地とその集水域、ため池および池、草はら（土手や畦など）、巨木林、雑木林

自然保護関係法の指定

奥越高原県立自然公園（一部）、南六呂師鳥獣保護区（一部）

もっと詳しく知りたい人へ

福井県のすぐれた自然動物編,p430[六呂師高原の止水環境]
福井県のすぐれた自然植物編,p74[六呂師高原の湿原],p75[神明山のアカマツ林]

該当地の位置



保全すべき環境に生息・生育している生物



コオイムシ
県域絶滅危惧 類
水生植物の繁茂した池や休耕田、水田わきに生息



オオコオイムシ
県域準絶滅危惧
水生植物が繁茂した浅いため池、湿地、休耕田に生息



マルガタゲンゴロウ
要注目
水質や環境の良いな溜め池などに生息



モウセンゴケ
要注目
日当たりの良い酸性湿地に生育



リンドウ
要注目
山野の日当たりの良い草地に生育